

令和7年3月26日

教育委員会教育長 様

足寄高等学校長

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- | |
|--|
| (1) 全ての教育活動で社会貢献に資する生徒の課題解決能力を育む。
(2) ティーチングとコーチングの併用で生徒のメタ認知能力を育む。 |
|--|

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・「主体的・対話的で深い学び」を目指す授業により学習意欲が向上。タブレット端末等のICT機器の活用を含めた個別最適・協働的な学びの一層の推進が必要。 ・全学年「総合的な探究の時間」における探究的な学習を計画的・系統的に推進。課題の設定・解決に資する、地域の学習資源を活かした効果的なフィールドワークの充実が必要。	○取組は概ね良好である。 ・ICTを利用した個別最適な学びやグループワーク等による協働的な学びの一層の進展を期待する。 ・課題解決型の教育活動が多様に実施されており、内容も工夫改善されている。引き続き、次代を担う生徒の育成に期待する。
改善方策	・個別最適・協働的な学びに係る校内外研修や受講奨励の一層の推進。 ・探究的な学習において、自己調整力等を伸長させる指導と評価が一体化した評価基準の整備。	
生徒指導	・スマートフォン利用マナーについて生活委員会等がポスター等を作成し啓蒙活動を展開。TPOに合わせた利用に係る判断力の養成が必要。 ・気づきを与える指導により過干渉・過保護なアプローチを抑制し自主性を促進。コーチング・ファシリテーションスキルの向上が必要。	○取組は概ね良好である。 ・探究的な学習を通じて、社会課題や学校生活の在り方について生徒が主体的に考える力の育成を期待する。 ・自立的に行動することの目的や意味を生徒が経験的に体得できる活動を期待する。
改善方策	・探究的な学習を通じて、健康被害、詐欺など、スマートフォン利用による社会問題に係る学習を推進。 ・コミュニケーション・スキルに係る校内外研修や受講奨励の一層の推進。	
進路指導	・探究的な学習の成果を段階的に校内外道教委「探究チャレンジ」で一般へ発表。教員の探究スキル指導力の向上、指導の方向性の共有が必要。 ・公設民営塾との定期的な打合せにより、模試・講習の効率的で効果的な活用を推進。さまざまな模試実施に係る週休日監督業務や放課後講習の回数増による負担の軽減が必要。	○取組は概ね良好である。 ・地域の人材、施設、環境等を活用し、探究的な学習など、多種多様な体験活動の展開を期待する。 ・生徒を主体的に動かすコーチングや探究スキル向上のための校内外研修、公設民営塾との連携による業務改善を期待する。
改善方策	・探究的な学習に係る校外研修への参加や先進的な進路指導の実践校を訪問し情報収集を推進。 ・公設民営塾と連携し、約半数の模試の自宅受験化への移行、放課後講習の実施体制の見直し。	
健康安全指導	・いじめ防止等対策委員会、教育相談担当など、生徒指導事案別の組織的な対応の推進。SCを含めて、さまざまな指導や面談において得られた生徒に係る情報の共有と活用が必要。 ・学校生活における生徒の満足度や意欲、学級集団の状態を測定するQUを複数回実施。QU活用に係る校内研修を実施したが、効果を上げるには組織的・計画的な情報共有が必要。	○取組は概ね良好である。 ・生徒の変化にいち早く気づき、適確に対応することが第一である。メンタルケアの一層の充実を期待する。 ・校内組織を活性化することにより、個々の生徒が個性を大切にできる環境づくりの構築を期待する。
改善方策	・生徒指導部会で収集した情報を、学年の生徒指導部員を通じて学年会において共有。 ・SC講話を長期休業期間前後にリモートやグループワーク等で実施するなど、柔軟な形式で実施。	
公表方法	・本校ウェブページに掲載	